

2017年4月24日

第3221号 for Nurses

週刊(毎週月曜日発行)
購読料1部100円(税込)1年5000円(送料、税込)
発行=株式会社医学書院
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
TEL (03) 3817-5694 FAX (03) 3815-7850
E-mail: shinbun@igaku-shoin.co.jp
JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

New Medical World Weekly

週刊医学界新聞



医学書院

www.igaku-shoin.co.jp

今週号の主な内容

- 保助看国家試験合格発表…………… 1面
- [連載]看護のアジェンダ,他…………… 2面
- [インタビュー]AI時代の看護教育(鈴木敏恵)…………… 3面
- [連載]院内研修の作り方・考え方(新)…………… 4面
- 「美学」こそが組織における重要な課題(井部俊子)…………… 5面
- [寄稿]「死にゆく患者と、どう話すか」と突きつけられたあの日から…………… 6面

2016 年度保助看国家試験合格発表

保健師, 助産師, 看護師いずれも合格者数は昨年度に比べ減少

厚労省は3月27日、2016年度の第103回保健師国家試験、第100回助産師国家試験および第106回看護師国家試験の合格者を発表した。

合格率は、保健師90.8%、助産師93.0%、看護師88.5%。看護師国家試験の合格率は第95回(2005年度、88.3%)以来の低さとなり、合格者数は昨年を下回った。保健師、助産師とも合格者数は昨年度に引き続き減少し、助産師の合格者数は7年ぶりに2000人を割り込んだ。学校区分によ

● 2016 年度保助看国試の合格基準

【第103回保健師国家試験】

一般問題を1問1点(73点満点)、状況設定問題を1問2点(68点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

▶ 総得点 85点以上/141点

【第100回助産師国家試験】

一般問題を1問1点(75点満点)、状況設定問題を1問2点(70点満点)とし、次の合格基準を満たす者を合格とする。

▶ 総得点 87点以上/145点

【第106回看護師国家試験】

必修問題および一般問題を1問1点、状況設定問題を1問2点とし、次の①②の全てを満たす者を合格とする。

▶ ①必修問題 40点以上/50点

②一般問題、状況設定問題

142点以上/248点

注：一部の問題において採点対象から除外された受験者は基準が異なる場合がある。

● 次週休刊のお知らせ

次週、5月1日付の本紙は休刊とさせていただきます。次回、3222号は5月8日付となりますのでご了承ください。

(「週刊医学界新聞」編集部)

る合格状況は本紙2面に示す。採点除外等となった問題については、保健師国家試験で5問、助産師国家試験で1問、看護師国家試験では8問だった。

合格発表会場の一つとなった東京・厚労省講堂には、受験者やその家族、学校関係者、病院関係者らが詰め掛けた。発表時刻の14時を過ぎると、会場のあちこちで、友人と手を取って喜びを分かち合い、記念撮影をする姿が見られた。取材に応じた女子学生は、「緩和ケアに興味がある。入職後は患者さんから一つでも多くのことを学んでいきたい」と笑顔で抱負を語った。

神奈川県内の看護学校の教員は看護師国家試験問題について、「五肢二択問題が出題された他、読解力や臨床判断を問う、暗記では対応できない出題が多かった」と出題傾向の変化に触れ、「国家試験の傾向に合わせ、集中して長文を読み解く力を鍛えることを意識して授業や学内試験を組み立てたい」と教育者の立場から指導の工夫に意欲を示した。

● 表 保助看国試合格者数・合格率の推移

	回数	合格者数(人)	合格率(%)
保健師	99	15,766	96.0
	100	14,970	86.5
	101	16,517	99.4
	102	7,901	89.8
	103	7,450	90.8
助産師	96	2,072	98.1
	97	2,015	96.9
	98	2,034	99.9
	99	2,003	99.8
	100	1,909	93.0
看護師	102	50,232	88.8
	103	53,495	89.6
	104	54,871	90.0
	105	55,585	89.4
	106	55,367	88.5



● 写真上 発表開始直後、列を成す関係者/写真右 受験番号を照合する受験者たち=いずれも東京・厚労省にて



第106回看護師国家試験の出題傾向分析

斉藤 由美 (東京アカデミー東京校 講師)

◆ 必修問題について

過去問にない単語が出題されたので難しく感じたかもしれないが、「AM10 ヒューマンエラー」は医療従事者として持っておいてほしい知識であり、「PM3 光化学オキシダント」の原因物質は知っておくべきである。関係法規、社会保障の問題は新問が多かったが難易度は普通であり、解剖生理・基礎看護は例年通りであった。

◆ 一般問題について

第104回以降、過去問のみの学習では厳しくなっており、その傾向は顕著になっている。初見の問題で高正答率を得るには、知識と思考力を鍛える必要がある。以前より出題されていた3~5行ほどの臨床に則した出題がAM12問・PM7問と増加した。問題文中にキーワード(重要事項)が増え、複数のキーワードを見つけ出し、関連付けて正解を導かなければならないため解答に時間はかかるが、「状況把握」と「看護師として何をするか」を問われているだけである。また、「AM66 脊髄損傷」「AM80 左上腕骨顆上骨折」など、整形外科分野からの出題も見られた。「PM40 関節リウマチの自助具」は2016年2月の医道審議会の議決(出題基準改定方針)を踏まえた、在宅医療での看護技術や医療用具および住宅改修等を扱う新傾向問題の一つと言える。関係法規は制度改正を間近に控える介護保険は出題減となった。「PM46 就業構造基本調査」「PM67 食品衛生法他」等は今まで出題されたことのない統計や法律であり、幅広い学習が求められる。

◆ 状況設定問題について

例年AM、PM各10症例だったものが各11症例になり、さらに読解力が求められた。一般問題で時間を使い過ぎた受験生には大変だったに違いない。検査データの基準値を正しく暗記して異常を見分ける力をつけないと解けない問題が複数あった他、一般問題と同様、「看護師として何をするか」という判断を問う出題が多かった。疾患の勉強に加えて「思考力」「アセスメント力」を習得することが必要であり、実習中の教育がますます求められてくるだろう。

次回から新出題基準へ移行するとされているが、解剖生理から疾患の病態を理解し、患者に何をすべきかという思考を問う近年の傾向は変わらないと考えられる。そのため、これまで以上に幅広く、深く知識を習得し、関連付けて考えることが重要になる。

● 本紙で紹介の和書のご注文・お問い合わせは、お近くの医書専門店または医学書院販売部へ ☎03-3817-5650
● 医学書院ホームページ(http://www.igaku-shoin.co.jp) もご覧ください。

4

April
2017

新刊のご案内

医学書院

フットケアと足病変治療ガイドブック

(第3版)
編集 一般社団法人 日本フットケア学会
B5 頁304 3,400円 [ISBN978-4-260-03036-6]

精神科レジデントマニュアル

編集 三村 将
編集協力 前田貴記、内田裕之、藤澤大介、中川敦夫
B6変型 頁352 3,800円 [ISBN978-4-260-03019-9]

こころの病を診るといふこと 私の伝えたい精神科診療の基本

青木省三
A5 頁296 3,000円 [ISBN978-4-260-03020-5]

発達障害のリハビリテーション

多職種アプローチの実践
編集 宮尾益知、橋本圭司
B5 頁280 4,500円 [ISBN978-4-260-02846-2]

医療福祉総合ガイドブック

2017年度版
編集 NPO法人 日本医療ソーシャルワーク研究会
A4 頁304 3,300円 [ISBN978-4-260-03034-2]

病院早わかり読本

(第5版増補版)
編著 飯田修平
B5 頁312 2,300円 [ISBN978-4-260-03051-9]

看護診断

第22巻 第1号
編集 日本看護診断学会
B5 頁74 2,800円 [ISBN978-4-260-03049-6]

〈シリーズ ケアをひらく〉

中動態の世界
意志と責任の考古学
國分功一郎
A5 頁344 2,000円 [ISBN978-4-260-03157-8]

多職種連携で支える災害医療

身につけるべき知識・スキル・対応力
編著 小井土雄一、石井美恵子
B5 頁208 2,700円 [ISBN978-4-260-02804-2]

飲んで大丈夫? やめて大丈夫?

妊娠・授乳と薬の知識
(第2版)
編集 村島温子、山内 愛、中島 研
A5 頁192 2,200円 [ISBN978-4-260-03021-2]

家族計画指導の実践

少子社会における家族形成への支援
(第2版増補版)
木村好秀、齋藤益子
B5 頁200 3,000円 [ISBN978-4-260-03048-9]

子どものための精神医学

滝川一廣
A5 頁464 2,500円 [ISBN978-4-260-03037-3]

看護師長ハンドブック

編集 古橋洋子
A5 頁140 2,200円 [ISBN978-4-260-03006-9]

シミュレーション教育の効果を高める

ファシリテーター
Skills & Tips
内藤知佐子、伊藤和史
A5 頁264 2,600円 [ISBN978-4-260-03014-4]

発達段階からみた

小児看護過程
+病態関連図
(第3版)
編集 浅野みどり、杉浦太一、山田知子
編集協力 高橋義行、濱 麻人
A5 頁816 3,800円 [ISBN978-4-260-02837-0]

2018年版 系統別看護師

国家試験問題集
必修問題・過去問題・国試でるでたBOOK
[系統看護学講座] 編集部 編
B5 頁1816 5,400円 [ISBN978-4-260-03040-3]

2018年版 保健師国家試験

問題集
「保健師国家試験問題集 電子版」
「国試直前チェックBOOK」付
[標準保健師講座] 編集部 編
B5 頁736 3,500円 [ISBN978-4-260-03033-5]

2018年版 准看護師試験

問題集
医学書院看護出版部 編
B5 頁570 3,400円 [ISBN978-4-260-03041-0]

看護医学電子辞書11

電子辞書 55,500円 [JAN4580492610193]

AI時代の看護教育

「意志ある学び」を実現するために

interview 鈴木 敏恵氏（シンクタンク未来教育ビジョン 代表）に聞く

「AIに奪われる仕事」が話題になる中、教育の分野は「知識を与えるだけの教育」から「知識を与えない教育」へと転換している。看護教育もアクティブラーニングをはじめ、能動的な学習方法が積極的に取り入れられつつある。その学びを実践でさらに生かすために、教員は学習者をどのように教え導けばよいのだろうか。本紙では、オリジナリティあふれる教育手法を長年発信し続ける鈴木敏恵氏に、自ら学ぶ力を身につけるための教育と、これからの看護教育がめざすべきビジョンについて聞いた。

——先生はこれまで、看護教育へのアクティブラーニング導入など、従来の教育手法からの転換を訴えてきました。どのような背景があるのでしょうか。
鈴木 AI（人工知能）時代が到来しようとしている今、正解が決まっているもの、意味がわからなくてもできてしまう仕事はAIに取って代わられてしまいます。AIが持ち得ない能力を高めるため、学習者に一方的に知識を教えるだけの教育から、学習者主体の学びへと転換する必要があります。

——高度な認知能力によって状況判断できるAIの登場で、看護の現場はどのような変化が起これと予想しますか。
鈴木 例えば、病棟のさまざまなモノがIoT化され、看護師が獲得する情報がAIネットワークと結ばれれば、患者がベッドに寝ている間のバイタルサインなど、あらゆる情報をアセスメントできるようになります。安定していた昨日までとは違う何らかの兆候や危険因子も、画像認識でとらえアラーム機能で知らせてくれるでしょう。

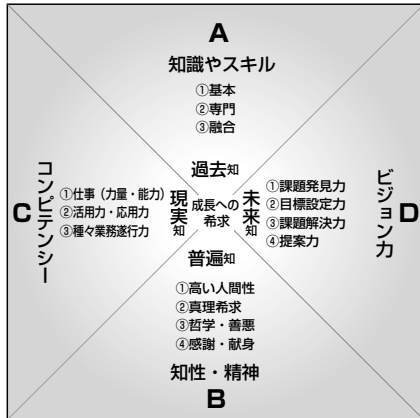
将来的には、AIが測定データと電子カルテ情報を複合して基本的な看護計画や治療方針の策定、さらには退院後、地域の社会資源活用のプランを提示するなど、仕事内容が劇的に変わることは間違いありません。

重視すべきは「センシング力」と「課題解決力」

——では、AI時代に身につけるべき能力はどのようなものですか？

鈴木 次世代教育に求められる修得知として私が提言してきたA～Dの4つ領域です（図1）。Aの「知識やスキル」が大切であることは間違いありませんが、これはAIが得意とするところで、社会の進化であつという間に陳腐化する可能性があります。一方で、何が起これるかわからない現実世界の不確実性には、AIは弱いんです。

そこで、Cの「コンピテンシー」、Bの「知性・精神」、Dの「ビジョン力」を身につけることが大切です。特にこれからの未来を描く力であるDが重要です。ありがたい像（ビジョン）があることで現実とのギャップに気づき、



●図1 未来教育——4つの修得知モデル（『アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する』より）

課題解決力が身につきます。

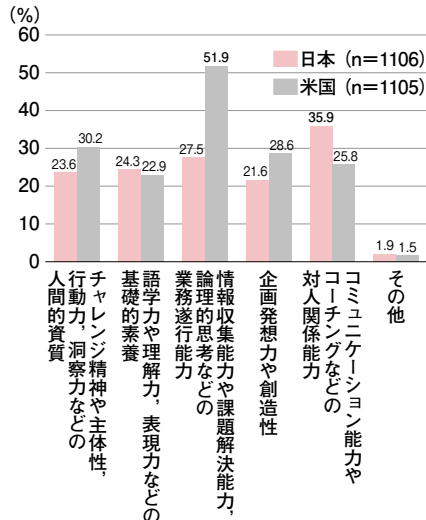
——指導者が教えるに当たり、意識すべき点はありませんか。

鈴木 「人間にしかできないことは何か」、「教育で何を提供すればよいか」の二つを考えることです。前者はDの「ビジョン力」です。AIは、人間のように自ら未来を描くことはしません。看護師は、患者さんへの励ましや優しさを、言葉やタッチングの手のひらで伝え、退院後の患者さんが「こうあったらいいな」とQOLを尊重しながらビジョンとゴールを描けます。

後者は、「課題発見、解決力」に必須の「センシング力」です。総務省は2016年、日米の就労者が考える「AIの活用が一般化する時代における重要な能力」を調査しました（図2）。米国の就労者は「情報収集能力」「課題解決能力」を特に意識しています。業務の完遂を第一に求められる米国ならではの事情が反映されていますが、看護師の「資質」とも重なります。

——AIが活用される中、人間にさらに求められる能力と言えそうです。

鈴木 はい。センシング力で目の前の状況を把握することができなければ、どんな能力やスキルも発揮することはできません。学生や新人看護師に知識があつても、現場で力を発揮できないとの声をしばしば聞きます。教育現場にセンシング力を教える場面が少なく、学習者も身につけていないからです。机上のペーパーペイシエントや学内演習ではなく、現実の場でしか修得



●図2 人工知能(AI)の活用が一般化する時代における重要な能力¹⁾

できない力なのです。

意志ある学びをかなえるビジョンの力

——先生は「アクティブラーニングをこえた教育」を提言しています。具体的な内容を教えてください。

鈴木 アクティブラーニングは手段であつて目的ではありません。めざすのは、その先のアクティブシンキングです。アクティブとは「主体的」の他に“敏活”の意味もあります。アクティブになるためには「何のために」「何をやり遂げたいのか」という目的と目標が必要です。主体的とは単に「自分から動く」のではなく、センシング力を発揮して目の前の課題を発見し、情報を獲得して解決へと向かうことです。

その過程で得た情報や、思考、判断を客観的に見る「メタ認知」によって自覚的に成長することができます。その有効な手法が「次世代プロジェクト学習（Project Based Learning）」（以下、プロジェクト学習）という、ポートフォリオ、対話、コーチングを融合させて私が構想したものです。

「未来がこうなったらいいな」と思うことつてありますよね。その「ありがたい姿」を学習者が描ければ、自身の課題に気づき、解決や実現に向けて進んでいくことができます。

——「意志ある学び」を理念とする、プロジェクト学習の広がりが期待されます。

鈴木 そうですね。取り入れることで、学生のモチベーションがグンと上がります。導入校からは、看護師国家試験の結果が飛躍的に向上したと、この4月もうれしい知らせが届いています。



●すずき・としえ氏

シンクタンク未来教育ビジョン代表、教育クリエイター、一級建築士。日赤秋田看護大大学院非常勤講師。教育界、医学界など高度専門領域におけるアドバイザーとして、プロジェクト手法やポートフォリオ評価、次世代教育構想コンサルタントを行う。大学FD構想、新人研修、指導者育成、キャリアデザインを目的とする人材育成などを全国で実施。『看護師の実践力と課題解決力を実現する！——ポートフォリオとプロジェクト学習』『アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する——与えられた学びから意志ある学びへ』（いずれも医学書院）など著書多数。

学生が「看護師になりたい！」というビジョンを強く胸に持ったからだつ、先生方が教えてくれました。

——より高度なアクティブラーニングとも言えるプロジェクト学習を、教員は、どこから始めればよいでしょう。

鈴木 学習者がビジョンとゴールを考えるとところからです。プロジェクト学習の出発点となる「ゴールシート」^(註)を用い、めざすゴールを記入したら、ポートフォリオの1ページ目に入れます。リフレクションとリフレーミングの「2つのR」も大切です。振り返るだけでなく、違った見方をするこつで発想が広がっていく。その思考過程がポートフォリオで見えますから、課題発見から解決に至る一連のプロセスが明らかになります。「患者さんによく なつてほしい」、そのビジョンを胸に学び続ける人に育つてほしいですね。——技術革新が進む時代、看護教育が進むべき新しい方向性となりそうです。

鈴木 はい。AI時代の将来、自ら課題を発見して解決に向かおうとする看護師は、ますます求められます。

この世界は「知の果樹園」です。リンゴに気付ける人、取りたいと思っている人にとっては、その環境が無限に広がっている。研修や授業だけが学ぶ場ではありません。与えられた学びから意志ある学びへと自分で成長させられる人を育てる。それが、私たちのめざす教育のゴールだと信じています。（了）

註：医学書院ウェブサイトからダウンロード可
<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=86192>

●参考文献

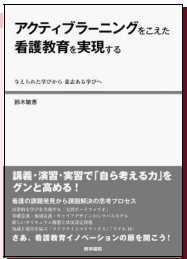
1) 総務省、ICTの進化为雇用と働き方に及ぼす影響に関する調査研究。2016。

創造的に、アクティブに、自らの力で未来に向かうことのできる看護師の育成のために

アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する 与えられた学びから意志ある学びへ

インターネットが普及し、人工知能時代の到来を前に、「正解のない問題に自ら立ち向かえる力」を育成することが、ますます求められている。看護師であれば、最新の知識・技術を学び続ける力、コミュニケーション力や情報化へ対応する力などを強化することも必要である。本書では、看護師自らが考え、能動的に動くために必要なことは何かを主眼に、アクティブラーニングをこえた多くの実践的かつ有効な教育方法を紹介。

鈴木敏恵
シンクタンク未来教育ビジョン 代表



臨地実習でも国家試験の勉強でも役に立つ

看護データブック 第5版

本書では、看護に必要な検査値などの数値やアセスメントの基準を網羅しつつ、データの解釈や判断の基準などを簡潔に示している。今般第5版では、全体的にデータを更新するとともに、「がん看護学」のデータを充実させた。臨地実習や国家試験の勉強で参考になる1冊。

編集 神田清子
群馬大学大学院保健学研究科・教授
二渡玉江
群馬大学大学院保健学研究科・教授



